

## 『梅木発電所』のリパワリング工事完了のお知らせ

このたび、東京発電株式会社(本店:東京都台東区 代表取締役社長:<sup>さかもと</sup>坂本 <sup>くにたか</sup>邦隆)は、2015年12月に静岡県伊豆市梅木の『梅木発電所(1911年12月運転開始)』のリパワリング工事に着手し、出力685kWから770kW(水車発電機:横軸フランシス水車, 三相同期発電機)に増出力を図り、2017年3月16日に営業運転を再開いたしました。

これにより当社が関東甲信越に保有する76箇所の水力発電所の総出力は、186,057kWとなります。

2015年12月に着工した、静岡県伊豆市梅木の梅木発電所(1911年12月運転開始)のリパワリング工事が完了し、3月16日に運転を再開いたしました。

同発電所は、一級河川狩野川水系大見川より毎秒4.731m<sup>3</sup>を取水し、約20mの落差を利用して最大685kWを発電しておりました。この度、「水車発電機」「制御装置」「変電設備」「水圧管路」「発電所建物」を取替えるリパワリング工事を行い、同取水量のまま、水車発電機の効率向上等により770kWへ増出力を図りました。

今回の工事に合わせ、流用する水路設備の健全性を確認し、「取水設備」「導水路」「水槽」について一部修理・改修を行いました。

工事を計画するにあたり、これまでの横軸二輪前口双子フランシス水車2台を、高効率の横軸単輪単流渦巻フランシス1台に取替え、巡視・点検等メンテナンス面で省力化を図ると共に、極力損失落差が少なくなる水車発電機レイアウトの工夫と、水圧鉄管も2条から1条にしたことにより損失落差を低減しました。

また、発電所の横を流れる大見川は鮎釣りのシーズンになると多くの釣り客が訪れます。発電所の緊急停止による余水の事故を防ぐため、減勢設備を新たに構築し、より一層の安全対策を図りました。

梅木発電所は、運転開始から105年目を経過し、「水車発電機・水圧鉄管等」の老朽設備を更新し、新たなスタートを切ると共に、土木学会「日本の近代土木遺産」に指定されている煉瓦水路橋を含む水路設備等については今後更なる確かなメンテナンスを行い、長期に亘り安定運転を継続してまいります。

今回のリパワリング工事により、当社が関東甲信越に保有する76箇所の水力発電所の総出力は、186,057kWとなります。また、同発電所で発生した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度により売電いたします。

当社は、引き続き地域社会と協調し、再生可能エネルギーの普及拡大とともに低廉で安定した電力の供給に努めてまいります。

### 【発電所概要】

- (1)最大出力:770キロワット
- (2)水車:横軸フランシス水車 1台
- (3)発電電力量:年間約530万キロワットアワー  
(一般家庭約1,800軒分の年間使用電力量に相当)
- (4)発電所位置:静岡県伊豆市梅木

## 【プレスリリース】

リパワリング前



リパワリング後



水車発電機



水圧鉄管



発電所建物

**【問い合わせ先】**

東京発電株式会社水力事業部事業総括グループ 角 TEL090-3694-2315

東京発電株式会社ホームページ : <http://www.tgn.or.jp/teg/>